

科目ナンバリング		U-LAS41 10002 PJ49							
授業科目名 <英訳>	スポーツ実習 I B [アダプテッド・スポーツ] Sports I B [Adapted sports]				担当者所属 職名・氏名	人間・環境学研究科 准教授 江川 達郎			
群	健康・スポーツ科目群		分野(分類)	スポーツ実習		使用言語	日本語		
旧群	D群	単位数	1単位	週コマ数	1コマ	授業形態	実習(対面授業科目)		
開講年度・ 開講期	2026・後期		曜時限	木1/木2		配当学年	全回生	対象学生	全学向
【授業の概要・目的】									
<p>スポーツ実施は身体機能の維持・増進に有益であるだけでなく、論理的思考力の増強や社会交流の啓発にもつながる。アダプテッド・スポーツとは、ルールや用具を改良することにより、障害の有無や身体活動能力、年齢にかかわらずスポーツ活動を楽しむことができるように工夫・適合(adapt)されたスポーツのことである。</p> <p>本授業では、障害等(疾患や怪我等による一時的な障害、その他の心身の不調を含む)のある学生とともにアダプテッド・スポーツを経験することにより、障害等に応じたスポーツの実施方法を学修する。</p> <p>障害等のある学生が履修しない場合は、様々なアダプテッド・スポーツを経験することにより、自分に合ったスポーツの楽しみ方を見つけ、生涯を通じてスポーツに興じるための心づくり・体づくりを目指す。</p>									
【到達目標】									
<ul style="list-style-type: none"> ・様々なアダプテッド・スポーツの特徴や楽しみ方を理解する。 ・自身の体力や技術を自覚し、自身にadaptしたスポーツの実施方法を見出し、主体的にスポーツに取り組む力を養う。 ・障害のある学生に配慮しながらスポーツを実施することができる。 									
【授業計画と内容】									
<p>第1回：講義(アダプテッド・スポーツの理解)</p> <p>第2回～第14回：</p> <p>下記の種目を受講人数や受講者の状況に応じて実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パラスポーツ(ボッチャ・ブラインドサッカー・ゴールボール・フロアホッケーなど) ・フライングディスク種目(アルティメット・ガッツ・ディスクゴルフなど) ・野球系種目(ベースボールファイブ・キックベースボール・ティーボールなど) ・サッカー系種目(アンプティサッカー・フットサル・ハンドボールなど) ・バレーボール系種目(キャッチバレーボール・プレルボール・風船バレー・インディアカなど) ・テニス系種目(ピククルボール・ショートテニス・フロアテニス・タスポニーなど) ・バドミントン系種目(ファミリーバドミントンなど) ・バスケットボール系種目(ポートボールなど) ・ラグビー系種目(タグラグビーなど) ・卓球系種目(卓球バレー・サウンドテーブルテニスなど) ・車椅子種目(車椅子バスケットボール・ハンドボール・卓球など) ・レクリエーション系種目(ゲートボール・ペタンク・スポーツ鬼ごっこ・大縄跳び・ウォークラリー・スポーツ吹矢・モルック・キンボールなど) <p>第15回：フィードバック フィードバック回は、個人の質問に対応する。</p>									
<p>授業は吉田南グラウンドおよび体育館で実施する。</p>									
<p>-----</p> <p>スポーツ実習 I B [アダプテッド・スポーツ](2)へ続く</p>									

スポーツ実習ⅠB [アダプテッド・スポーツ](2)

障害等のある学生の履修に関しては、履修希望者と相談のうえ、障害等の特性・程度、体力レベルに応じたスポーツ種目を履修者全員で実施する。

【履修要件】

- ・ 障害等のある学生や体力に自信のない学生、従来型スポーツ（テニス、卓球、バレーボール、バスケットボール、サッカー等）に苦手意識のある学生、新しいスポーツを経験してみたい学生の積極的履修を歓迎します。
- ・ 障害等のある学生のスポーツ実習に際しては、障害等の状況に合わせた支援・調整を行います。支援を要望する学生は事前に連絡してください。
- ・ スポーツ経験の有無や体力レベルは問いません。
- ・ 将来的に障害との関わりが深い医療・福祉、教育、スポーツ、メディア分野の職に携わる可能性がある者やスポーツボランティア、障害者支援ボランティアに興味のある者の履修を推奨します。
- ・ どのようなスポーツでも楽しく行える人を歓迎します。
- ・ 準備や後片付けを積極的に行う受講意欲のある者を歓迎します。

【成績評価の方法・観点】

- ・ 学習態度（授業参加の積極性、準備・片づけの積極性、ルールの学習・理解）80%および期末小テスト20%で評価する。
- ・ 2/3以上の出席を最低要件とする。

【教科書】

使用しない

【参考書等】

（参考書）
矢部京之助 他 『アダプテッド・スポーツの科学』（市村出版）ISBN:978-4-902109-01-6

【授業外学修（予習・復習）等】

- ・ 個々の心身の状態を十分に把握しておくこと。
- ・ 世界中にどのようなスポーツあるいは運動遊びが存在しているのかについて探索し、スポーツへの関心を深めておくこと。
- ・ 様々なスポーツを観戦し、自身の技能向上に役立てること。

【その他（オフィスアワー等）】

スポーツ実習の履修には保険への加入が必要です。原則として「学生教育研究災害傷害保険」（学研災）および「学研災付帯賠償責任保険」（付帯賠償）に、留学生は学研災および「学生賠償責任保険」（学賠）に加入して、授業に参加してください。

【主要授業科目（学部・学科名）】